

防 衛 省 防 衛 研 究 所 仕 様 書			
品名 又は 件名	戦史研究センター史料室史料展示室の整備役務	作成	令和6年12月17日
		改正	—
		作成部署	戦史研究センター史料室

1 適用範囲

この仕様書は、防衛省防衛研究所戦史研究センター史料室（以下、「史料室」という。）の閲覧室内にある史料展示室（以下、「展示室」という。）の整備役務について規定する。

2 役務に関する要求

2.1 一般的要求事項

a) 実施場所

東京都新宿区市谷本村町5-1
防衛省防衛研究所F1棟1階展示室

b) 履行期間

契約締結後～令和7年3月28日（金）
契約相手方は役務の実施時期については3.3によるほか、官側と協議したのち決定するものとする。

c) 役務の実施において、契約相手方は作業員の安全並びに周囲の保全に十分配慮して実施するものとする。

2.2 役務の内容

以下に示すa)からk)、別紙1「展示室整備の必須事項の概見図」及び別紙2「展示室整備に係る成果物リスト」のとおりとする。

a) 展示室全体企画

契約締結後速やかに、展示室整備に係る役務実施計画書及び展示室の完成予定図案を作成して官側に提出し、承認を得ること。提出物は別紙2「1 役務実施計画書」及び「2 展示室の完成予定図」のとおりとすること。

なお、役務実施の主要な段階において、官側の求めに応じて工程等の進捗状況を報告し、官側の確認を受けなければならない。やむを得ない事情により計画に変更が生じる場合は、計画書を改定して官側の承認を得なければならない。

b) 既設展示台移動・配線工事

別紙1を参照し、展示室内の既設展示台4台（現在2台は中央に配置）を同展示室内の所定の位置に移動させること。照明用電源の配線を調整し、官側が展示台照明の入/切を簡便に行えるようにすること。

c) 既存東京古地図パネル展示

既設キャスターパネルを別紙1のとおりに配置し、既存東京古地図パネル（W940mm×H760mm×5mm）4面を掲示。

d) ピクチャーレール取付工事

別紙A, B, D, E面の4か所に取り付ける（C面は正面展示ケース内既設のものを使用）。ピクチャーレールは、以下（(e) (f) (g)項）に示す壁面展示物を吊るすことが出来る強度とする。

配置は別紙1、仕様（サイズ・材質・数量等）は、別紙2「3 ピクチャーレール（2000mm）」及び「4 ピクチャーレール（3000mm）」、「5 ジョイントフック4本/エンドキャップ8個」、「6 ハンガーワイヤセット 白」、「7 固定フック」のとおりとする。

e) 既存地図パネル（壁面展示）

以下の地図パネルを金具でピクチャーレールに吊るせるよう加工を施し、取り付けることとし、配置は別紙1のとおりとすること。

- ・ 呉 港 海 図（W1080mm×H 760mm×5mm）※既存
- ・ 横須賀港海図（W 760mm×H1080mm×5mm）※既存
- ・ 硫黄島戦況図（H1195mm×W 825mm×5mm）※既存
- ・ 沖縄戦戦況図（H1600mm×W1200mm×5mm）※既存

f) キャプションパネル（壁面展示）

地図パネルを説明するキャプションパネルを制作し、ピクチャーレールに取り付けること。内容・配置は官側と協議の上、決定すること。

仕様（サイズ・材質・数量等）は、別紙2「8 キャプションパネル」及び「18 展示キャプション」のとおりとする。

g) 年表パネル（壁面展示）

史料室及び所蔵資料の沿革に関する年表パネルを官側が提供する資料に基づき企画・製作し、ピクチャーレールに取り付けること。

配置は別紙1、仕様（サイズ・材質・数量等）は、別紙2「9 年表パネル」及び「19 年表パネル用グラフィックデザイン」のとおりとすること。

h) 正面展示ケース内展示（壁面展示）

・ 正面展示ケース内バナー

所蔵史料の概要や体系に関するバナーを企画・製作し、ピクチャーレールに取り付けること。配置は別紙1、仕様（サイズ・材質・数量等）は、別紙2「10 正面展示ケース内バナー」及び「20 正面展示ケース内バナー用グラフィックデザイン」のとおりとすること。

・ 正面展示ケース内企画展用パネル

ピクチャーレールに取り付けられる企画展用パネル及び官側が情報を更新できるパネルサイズに合わせたパネル情報入力用デザインフォーマットを制作し、電子媒体（CD-R もしくはDVD-R）にて提出すること。配置は別紙1、仕様（サイズ・材質・数量等）は、別紙2「11 正面展示ケース内企画展用パネル」及び「21 パネル情報入力デザインフォーマット」のとおりとすること。

i) 史料展示室入口企画展サイン

来館者が展示室の概要を一目でわかり、かつ来館意欲が向上するサインを企画・製作すること。サインは、自立スタンドとスタンドに取り付けられるパネルで構成すること。

配置は別紙1、仕様（サイズ・材質・数量等）は別紙2「12 史料展示室入口企画展サイン用自立スタンド」、「13 史料展示室入口企画展サイン用パネル」及び「22 入口企画展サインパネル用グラフィックデザイン」のとおり。

j) 展示かさ上げベース

正面展示ケース及び傾斜展示台（4台）内に展示する史料の視認性・可読性を向上させるため、かさ上げベースを製作し、所定の位置に設置すること。

配置は別紙1、仕様（サイズ・材質・数量等）は、別紙2「14 傾斜展示台用かさ上げベース」、「15 正面展示ケース用かさ上げベース（高）」及び「16 正面展示ケース用かさ上げベース（低）」のとおり。

k) 造作グラフィック展示台

官側が提示する資料に基づき史料室の概要を視覚的・直感的に表すグラフィックを企画し、展示台として製作設置する。

配置は別紙1、仕様（サイズ・材質・数量等）は、別紙2「17 造作グラフィック展示台」及び「23 展示台用グラフィックデザイン」のとおり。

3 工程及び日程管理等

役務実施にあたっての工程及び日程管理等は、3.1 から 3.3 によるほか、官側と十分に協議を行い、製作物及び対応するグラフィックデザイン及び工事内容について整合を図るものとする。

3.1 工程管理者の指定

契約相手方は、契約締結後速やかに作業工程を管理し、また官側との連絡調整を行う工程管理者を1名指定し、その氏名及び連絡先を官側に提出すること。

3.2 連絡調整

契約相手方は、官側との連絡を密にし、展示内容を企画製作する所要の段階において官側と協議し、官側の承認を得るものとする。

3.3 騒音作業

展示室は閲覧室内にあるため、騒音が発生する工事は平日の史料閲覧室閉館日の日中（令和7年2月10日（月）、3月10日（月））に実施すること。

4 納入場所

防衛省防衛研究所

5 納期

令和7年3月28日（金）

6 検査

2項に基づき目視検査を実施する。

7 契約相手方に関する条件

- a) 過去3年以内に官公庁・独立行政法人等の展示室整備に係る設計・制作業務を受託した実績を有すること。また、実績が確認できる資料等を官側に提出すること。
- b) ISO9001（品質マネジメントシステム）及び ISO14001（環境マネジメントシステム）を取得していること。また、認証が確認できる資料を官側に提出すること。
- c) 契約後から納入までの概略のスケジュール（工程表）及び別紙1「展示室整備の必須事項の概見図」を基に提案する展示室全体の完成予定図（パネルの表面は任意）を3Dパースで作成の上、画像化し、官側に提出すること。完成予定図作成にあたり測定等が必要であれば、官側は現地確認を認めるものとする。

8 その他

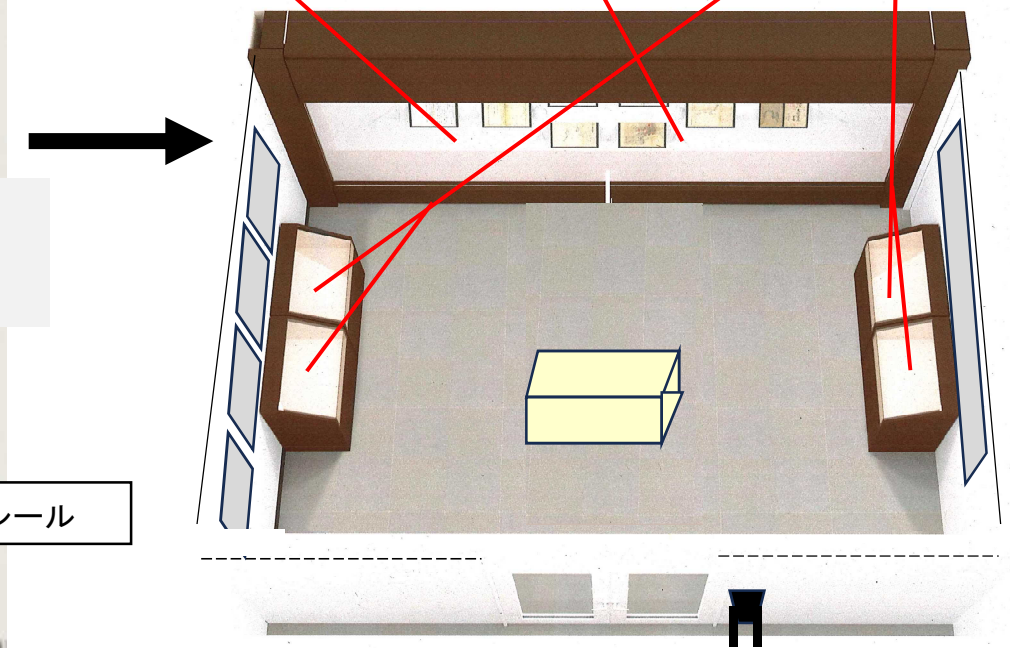
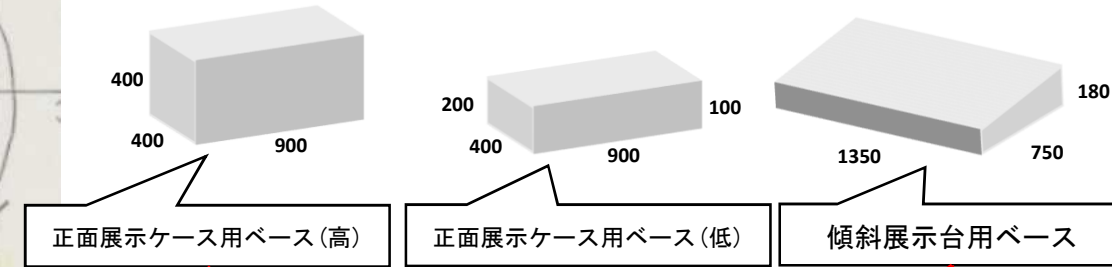
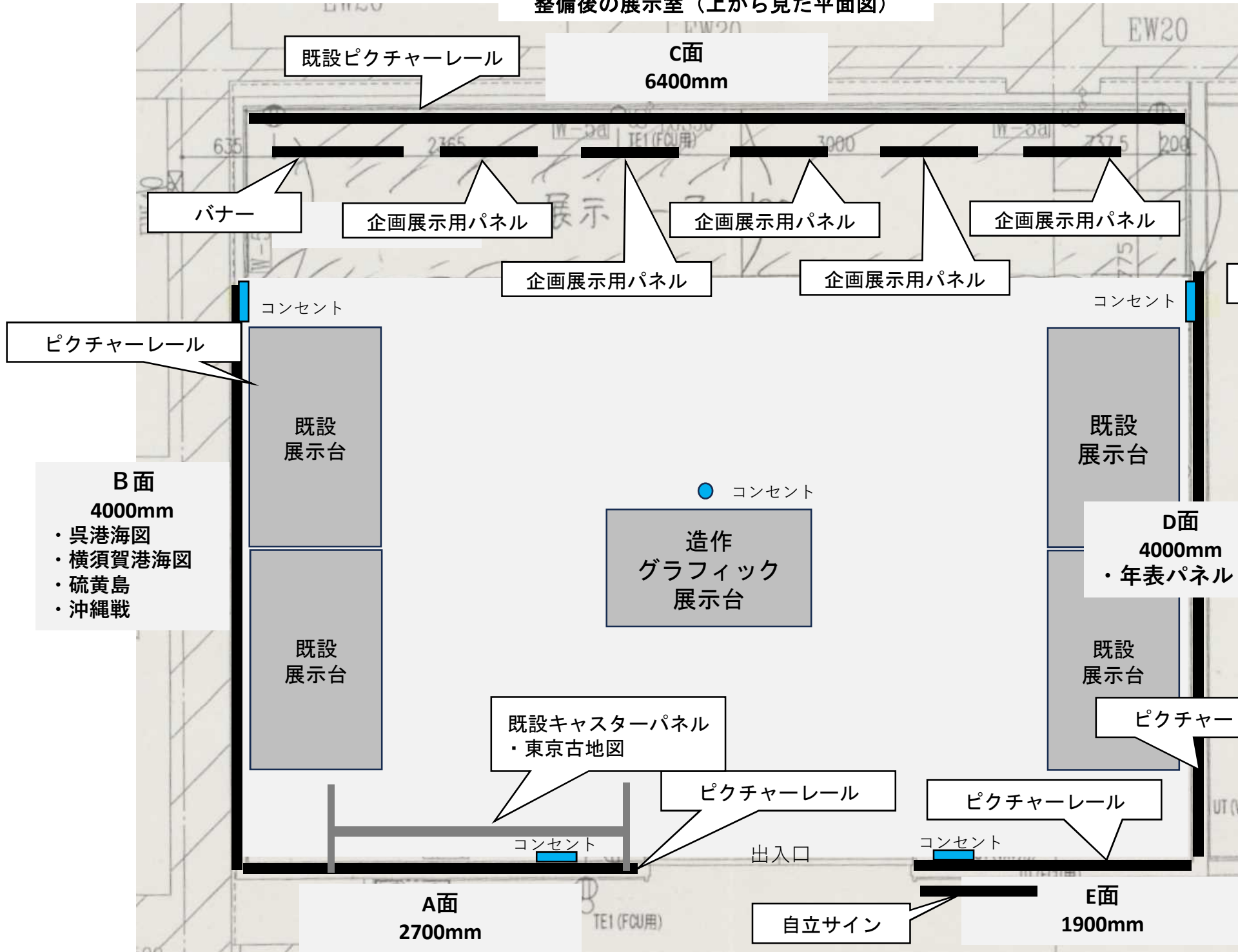
- a) 契約相手方は、本件実施にあたっては確実、迅速に実施するものとし、官側が必要とする場合は適時来所の上協議し、納品に遅滞を招かないようにしなければならない。
- b) 契約相手方は、不測の事態により、仕様書に定められた期日までに作業を終了することが困難となった場合は、遅滞なくその旨を官側に連絡し、その指示を受けるものとする。この場合、契約相手方は作業が困難となった事情を速やかに解決し、作業の遅れを回復するよう努めなければならない。
- c) 本業務で作成した著作権等の権利については、全て官側に帰属する。
- d) 契約相手方は、本件を実施するにあたって知り得た情報を第三者に漏らしてはならず、守秘義務を負い、その効力は本契約終了後も継続するものとする。
- e) 契約相手方の責めに帰すべき事由により、官側または第三者に損害を与えた場合、契約相手方は損害賠償の責を負うものとする。
- f) 官側から借り受けた資料（データも含む。）の管理については亡失、流出等がないよう十分な管理体制をもって行うこととし、亡失又は流出の事象が発生した場合には速やかに官側に報告するものとする。
- g) 作業の実施において、搬入口、エレベーター、通路など損傷の恐れがある部分については、養生やコーナーガードを施すこと。また、官側または第三者に損害を与えた場合は、契約相手側の故意・過失を問わず、契約相手側の負担で原状回復すること。
- h) 作業に伴い発生した廃材等は、契約相手方で回収し、適切に廃棄すること。
- i) 作業実施の際は、必要な安全措置を行った後、安全に十分に配慮し、作業を行うこと。
- j) 設置作業の際の駐車場所については、事前に担当に確認のうえ、その指示に従うこと。
- k) 契約の適用基準は、関係法令による。
- l) この仕様書に疑義が生じた場合は速やかに官側と協議する。

展示室整備の必須事項の概見図

展示室整備のコンセプト

本展示室の整備によって、来館者に所蔵史料の概要を知ってもらい、歴史的文書の意義・重要性、戦史編さんの重要性（戦史研究センターの役割を含む）、史料を保存し将来に残すことの重要性（史料室の役割を含む）などを伝え、さらにわが国の歩んだ歴史の一端を史料に接することで体感することができるようなものにしたいと考えている。

整備後の展示室（上から見た平面図）



整備後の展示室（立体イメージ図）

展示室整備に係る成果物リスト

No	成果物内容	仕様	数量	単位	備考
(1) 展示室全体企画					
1	役務実施計画書	展示企画書、作業工程表、作業体制図、スケジュール計画	1	式	紙媒体、電子媒体
2	展示室の完成予定図	3DCGパース	1	式	紙媒体、電子媒体
(2) 製作物関係					
3	ピクチャーレール(2000mm)	型番:荒川技研MC-10白 L=2000 材質:アルミ 寸法:2000mm	5	本	
4	ピクチャーレール(3000mm)	型番:荒川技研MC-10白 L=3000 材質:アルミ 寸法:3000mm	1	本	
5	ジョイントフック4本/エンドキャップ8個		1	式	
6	ハンガーワイヤセット 白		34	個	
7	固定フック		34	個	
8	キャプションパネル	w600*h200程度、アルミ複合板+出力貼り	5	枚	
9	年表パネル	w3200mm*h620mm、アルミ複合板製、塩化ビニールシート出力貼り	1	式	
10	正面展示ケース内パナー	w900*h1800mm、防炎クロスパナー、上下タペ加工、防炎クロス出力加工	1	式	
11	正面展示ケース内企画展用パネル	A1サイズ(w594mm*h841mm)、t5アクリル板+裏面出力貼、片面処理	5	枚	
12	史料展示室入口企画展サイン用自立スタンド	w600mm*h1200mm*d400mm以内 スチール製、黒粉体塗装、 パネルを自立スタンドへ取り付けの部品を含む。	1	台	
13	史料展示室入口企画展サイン用パネル	w380mm*h550mm以上、スチール製、黒粉体塗装 前面グラフィック印字。 背面にB3サイズの用紙をマグネットで貼り付け可能。	1	枚	
14	傾斜展示台用かさ上げベース	w1350mm*d750mm*h100mm*180mm、グレー 展示史料保護の点から使用素材の品質規格(JIS A 5908)は下記と同等以上とする。 ・ホルムアルデヒド放散量(mg/L):F☆☆☆☆(平均0.3以下、最大0.4以下) ・曲げ強さ(N/mm ²):13(縦方向・横方向ともに13.0 N/mm ² 以上のもの) ・接着剤による区分:REG(U)	4	台	
15	正面展示ケース用かさ上げベース(高)	w900mm*h400mm*d400mm、グレー 展示史料保護の点から使用素材の品質規格(JIS A 5908)は下記と同等以上とする。 ・ホルムアルデヒド放散量(mg/L):F☆☆☆☆(平均0.3以下、最大0.4以下) ・曲げ強さ(N/mm ²):13(縦方向・横方向ともに13.0 N/mm ² 以上のもの) ・接着剤による区分:REG(U)	3	台	
16	正面展示ケース用かさ上げベース(低)	w900mm*h200mm*d400mm、グレー 展示史料保護の点から使用素材の品質規格(JIS A 5908)は下記と同等以上とする。 ・ホルムアルデヒド放散量(mg/L):F☆☆☆☆(平均0.3以下、最大0.4以下) ・曲げ強さ(N/mm ²):13(縦方向・横方向ともに13.0 N/mm ² 以上のもの) ・接着剤による区分:REG(U)	3	台	
17	造作グラフィック展示台	w1400mm*d800mm*h600mm*800mm、木軸造作ボリ版仕上げ、 天面:3tアクリル+裏面出力仕上げ貼、1400mm*800mm 側面(4面):塩ビシート貼、1500mm*700mm	1	台	正面入口からの視認性を考慮し、展示台を傾斜させること。
(3) コンテンツ制作関係					
18	展示キャプション	壁面展示を説明するキャプションを制作すること。	1	式	「8 キャプションパネル(壁面展示)」に出力
19	年表パネル用グラフィックデザイン	史料室及び所蔵史料の沿革を視覚的に訴える年表コンテンツを制作すること。 官側が提供する防衛研究所の周年記念誌等の内容を参照し、年表原稿を制作すること。	1	式	「9 年表パネル(壁面展示)」に出力
20	正面展示ケース内パナー用グラフィックデザイン	官側が提供する資料等に基づき、所蔵史料の体系等に関するコンテンツを制作すること。	1	式	「10 正面展示ケース内パナー」に出力
21	パネル情報入力用デザインフォーマット	官側が企画展示の際に、情報を更新できるようにデザインフォーマットを制作し、可変データ(PowerPointファイル)として納品すること。	1	式	「11 正面展示ケース内企画展用パネル」に対応。電子媒体(CD-RもしくはDVD-R)にて納品。
22	入口企画展サインパネル用グラフィックデザイン	史料閲覧室利用者が史料展示室へ興味関心を持ってもらえるよう視覚的に訴えるグラフィックデザインとすること。	1	式	「13 史料展示室入口企画展サインパネル」の前面に出力
23	展示台用グラフィックデザイン	官側が提供する資料等に基づき史料室の概要を視覚的・直感的に表すコンテンツを制作すること。	1	式	「17 造作グラフィック展示台」に出力